

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒ヶ根大使村プロジェクト
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根国際交流事業実行委員会 (駒ヶ根市赤須町20-1)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大(ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,340,219円 (うち支援金: 2,652,000円)

事業内容

【キックオフイベント「こまがね大使村まつり」の開催】
毎月、駒ヶ根銀座商店街で開催される「子育て地蔵尊すくすく縁日」に合わせて開催。3か国からは駐日大使が、6か国からは駐日大使館職員が参加。通常の縁日に加えて、参加大使館国を紹介するブースを出展した。大使館の出店に際しては、その国の青年海外協力隊派遣経験者に通訳等のサポートを依頼した。このイベントを契機として、今後、市民と大使館との継続的な交流を促す。

【講演会「笑って学ぶSDGs」の開催】

市民の国際協力に対する理解を促進することを目的に開催。110名が参加。カードゲームやワークショップを通じて、SDGsに対する理解を深めた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【「こまがね大使村まつり」】

地域の縁日と合わせて開催することで、国際交流の経験がない層の参加もあり、参加した各国大使館関係者(34人)と市民との交流が図られた(参加者数1500人)。また、大使館関係者や県外から訪れた青年海外協力隊経験者にも国際色豊かなまち駒ヶ根をアピールすることができた。

【「笑って学ぶSDGs」】

カードゲームやワークショップを通じ楽しくわかりやすくSDGsや国際協力に対する理解を深めることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

イベントや講演会を通じて、当該プロジェクトの認知度を上げることができた。今後は本来の目的である、継続した交流に向けて実行委員会、市、JOCA、JICAそれぞれが持つチャンネルを活用し、民間機関、教育機関、各国駐日大使館に働きかけを行っていく。「こまがね大使村まつり」は今後も開催し、交流実績発表の場とする

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【こまがね大使村まつり】

【目標・ねらい】

- ①商店街の賑わい創出
- ②交流人口の増
- ③国際色豊かなまちづくり
- ④国際協力理解・相互理解

※自己評価【A】

【理由】

大使館との交流という他に類を見ない特色あるプロジェクトである。国際交流の経験なかった住民層にも働きかけることができた。